



令和8年度 串川中学校 学校経営ビジョン

1 学校教育目標 「豊かな心を持ち 自ら考え判断し 実践する生徒」

めざす生徒の姿

- ①基礎・基本を確実に身につけ、自ら課題を見つけ、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を身につけた生徒
- ②自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を身につけた生徒
- ③たくましく生きるための健康や体力を身につけた生徒



2 学校経営方針

教職員一人ひとりの持ち味や発想を生かし、積極的な学校経営への参画を通して、活力ある学校づくりをめざす。

- (1) 学校組織マネジメントの手法を取り入れた学校経営を行う。
 - ①学校教育目標を実現するため重点目標を設定し、PDCAサイクルによる教育活動の充実を図る。
 - ②学校評価及び即時改善システムにより、重点目標等の達成状況を定期的に検証して次への工夫や改善策につなげる。
 - ③カリキュラム・マネジメントを通して、日々の教育活動の質の向上を図る。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。
 - ①わかる授業づくりを目指した授業研究を行い、確かな学力の定着を図る。
 - ②クロームブック等のICTを効果的に活用し、基礎・基本の定着とそれを活用した思考力・判断力・表現力等の向上を図る。
- (3) 学校を内外に開き、保護者や地域、小学校と連携した教育活動を進める。
 - ①学校からの情報発信、外部からの情報受信を積極的に行うとともに、地域の教育力を生かした教育活動を進める。
 - ②小学校と連携した9年間の学びと育ちを重視した小中一貫教育を進める。
- (4) 教職員の指導力向上に取り組む。
 - ①校内研究による授業公開を計画的に行い、教員相互の指導技術の共有と向上を図る。
 - ②めざす教師の姿を実現するため、校内研修や学校OJTを推進する。

3 本年度重点目標

- (1) 心豊かな生徒の育成
 - ・心を育て自立を促す生活指導、計画的な教育相談、いじめ・不登校を未然に防ぐ対策、道徳教育
- (2) 確かな学力の定着
 - ・わかる授業の実践、ICTの効果的な活用、学力向上支援の充実、家庭学習の充実
- (3) 主体的に実践する生徒の育成
 - ・全ての生徒を生かす特別活動、生徒が主体的に実践する生徒会活動

☆学校スローガン『楽しい楽校 力を合わせる合校 そして、自ら学ぶ学校』の実現

4 本年度校内研究

- (1) 研究主題
 - 「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善」
- (2) 研究の手立て
 - ①生徒の実態に即した学習過程の工夫（主体的な学びの視点）
 - ②対話的な学びを引き出す授業展開（対話的な学びの視点）
 - ③学び合いが生まれる発問の工夫（深い学びの視点）